

子どもや高齢者、弱者に優しい区政を！

私立認可保育園など の定員割れ対策

【質問】2022年度（令和4年度）の保育園の1次申込数は1,589人、昨年比で67名の減少です。今年度も4月時点で待機児ゼロが実現する一方で、定員割れによる私立認可園の定員割れに対する特

保育園の運営に大きな影響が出ています。待機児解消が実現できた今こそ、保育の質の向上や隠れ待機児童をなくす取り組みが必要です。①私立認可園の定員割れに対する特別助成を継続して行うこと。
②単独園希望者は様々な事情を抱えています。待機児童の実態について調査を行い分析すること。
③100人を超える大規模園が30園存在します。待機児解消を機に大規模園のあり方を見直し、園児や保育士による意見もよく聞かれて検討すること。
④2022年度の職員定数が報告され明確になりました。保育園は早朝や夜間対応、障害児対応など人手が必要と、現在会計年度任用職員316人、派遣保育士56人で対応している中、働く保護者を支える支援士の削減はやめるべきです。

福島宏子議員の質問と答弁の全文は、日本共産党港区議団のホームページをご覧ください。

区立芝公園で遊ぶ子どもたち



シルバー人材センターの仕事確保

【質問】4月に『産業振興センター』が札幌に開設し、運営管理は指定管理者になります。

これまで勤労福祉会館で業務委託されていったシルバー人材センターの指定管理者公募要項では、「港区シルバー人材センターへの優先発注」を掲げています。これまで勤労福祉会館でシルバー人材センターが行なっている業務が奪われることになります。この運営管理が指定管理者に任せられることになります。そのため、港区の新たな建物ができてから、これまで勤労福祉会館でシルバー人材センターが行なっている業務を奪つてしまします。

【答弁】①インボイス制度は、シルバー人材センターで働く高齢者に、さらに消費税の負担を押し付けることとなります。シルバー人材センターの試算によると、年間約4,000万円の負担と零細業者等へ大きな影響を与えることになります。シルバー人材センターの会員数は1,686人、1人あたりの会員分金は、月平均で税込み約48,000円です。（2021年度総会資料）

シンボイス導入によるシルバー人材センターへの影響

【質問】1インボイス制度を廃止するよう国に申し入れることについてある区が制度の廃止を国に申し入れることとは考えておりませんが、事業者が制度の内容を正しく理解しない事態を防ぐための新たな建物ができてから、これまで勤労福祉会館でシルバー人材センターの業務が奪われることになります。この運営管理が指定管理者になりません。

【答弁】①インボイス制度を廃止することには、制度の内容を正しく理解しない事業者が制度の廃止を国に申し入れることで、シルバー人材センターの運営ができないよう支援を行うことになります。シルバー人材センターが安定的に事業運営ができるよう支援を行うこと。

【再質問】①現在の定員割れでは、運営は守れない。また、経営状況を団として手放してはならない。保育定員の減少により正規職員を減らすことではなく、派遣職員を配置すべき。

用職員や人材派遣を活用し、子どもたちが健やかに成長できる環境を整えています。

【答弁】①新たな産業振興センターの指定管理者に「協力を要請する」う指導致ること。②指定管理者に「協力を要請する」を確保を行うこと。

【答弁】①指定管理者の公募に当つては、公募要項で定める管理運営の基準において、港区シルバー人材センターへの優先発注を定めてあります。セントラルにて、港区シルバー人材センターの趣旨を踏まえ、港区シルバー人材センターへの優先発注について十分認識するよう示しております。指定管理者に対し、その趣旨を踏まえ、運営指導や2022年度から新たに実施する保育士人材確保の支援、社員の枠への投入や、フリー保育士と一緒に働き求めてまいります。

【質問】2023年10月実施が予定されているインボイス制度は、シルバー人材センターで働く高齢者に、さらに消費税の負担を押し付けることとなります。シルバー人材センターの試算によると、年間約4,000万円の負担と零細業者等へ大きな影響を与えることになります。シルバー人材センターをはじめ多業種に影響を与えるインボイス（適格請求書）制度を廃止するよう国に申し入れること。